

# 北播磨総合医療センター

## 放射線診断科

### 指導担当医（役職）

富田 優（放射線診断科部長・診療科長）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース・4週間コースどちらも可

#### 概要

画像診断において、重要な画像解剖をCT、MRIの臨床画像を見ながら学習するとともに、救急疾患を中心に初期研修医になったときに役立つ画像の読み方について勉強します。

IVRでは、肝細胞癌に対するTACE、大動脈瘤に対するステントグラフト留置術、CT下生検、閉塞性動脈硬化症に対するPTAなど幅広い領域のIVR治療について学習します。また、CVポート留置、PICC留置を通して、安全なエコーガイド下血管穿刺法についても理解を深めてもらいます。

その他、PET-CT、核医学検査、エコー、消化管透視、放射線治療についての実習も希望により選択可能です。実習初日に希望をお聞きし、各個人の希望に沿うような実習内容を計画していきますので何でもご相談ください。

#### 実習スケジュール 2週間コース、4週間コースともに共通

##### 1. 画像診断

- ① 画像診断においては、まずCT・MRIによる画像解剖を把握できるように実際の臨床例の画像を通して学んでもらいます。
- ② レポートシステムでのティーチングファイルを使用し、脳梗塞、脳出血、大動脈解離、イレウス、膵炎、胆嚢炎、消化管穿孔、虫垂炎など主な救急疾患について読影の基本を習得するようにしていきます。

- ③ 日常診療において重要な胸部単純写真についても、胸部画像診断専門の指導医のレクチャーを通して読影法の基本を学びCT所見との対比することにより理解を深めてもらいます。

## 2. IVR

- ① IVR領域では、肝細胞癌のカテーテル治療、大動脈瘤に対するステントグラフト治療、末梢血管の経カテーテル的血管形成術など幅広い領域のIVRを見学し、治療の適応や手技の流れについて学んでもらいます。
- ② 中心静脈カテーテルポート留置（CVポート）や末梢挿入型中心静脈カテーテル留置（PICC）でのエコーガイド下の安全な血管穿刺法についても学んでいきます。

## 3. カンファレンス、抄読会

- ① 多くの診療科と一緒にカンファレンスも盛んに行っていますので、ぜひ参加して勉強してください。消化器系、呼吸器系、心血管系、泌尿器系、乳腺、救急カンファレンスなどがあります。
- ② 画像診断、IVRの臨床研究や最近のトピックスなどの論文について抄読会を行っています。アットホームな雰囲気ですので気軽に参加してください。

## 学生へのメッセージ

この実習では、画像解剖や主な疾患の画像所見について学習し、将来役立つ画像診断の基礎を習得してもらうことを目標に考えています。

将来どの診療科に進むにしても、画像診断を勉強し理解を深めることはとても重要です。

画像診断は難しいから苦手と思ってる方でも、実習の間、毎日画像を見て学習することにより、画像診断に親しみを感じ興味が出るように実習を計画しています。

もちろん、画像診断やIVRに興味があって放射線科を進路の候補として考えてる方も大歓迎です！実習に参加して更にステップアップを目指しましょう。

当院では、各診療科と協力して幅広い領域のIVRを行っていますので、最新のIVR治療についてもぜひ経験してください。